

(3) 事業所規模別労働災害の状況

事業所規模別に労働災害の状況をみると、事業所規模1,000人以上規模では、度数率は0.56、強度率は0.04、事業所規模100～299人規模では、度数率は2.31、強度率は0.13となっており、度数率、強度率ともに事業所規模が小さくなるほど高くなっている（第2表）。

第2表 事業所規模別労働災害率

区 分	度数率					強度率				
	計	1,000人以上	500～999人	300～499人	100～299人	計	1,000人以上	500～999人	300～499人	100～299人
調査産業計(総合工事業を除く)	1.75	0.56	1.13	1.71	2.31	0.10	0.04	0.06	0.08	0.13
医療,福祉を除く調査産業計 (総合工事業を除く)	1.80	0.55	1.25	1.81	2.34	0.11	0.04	0.07	0.09	0.14
19年調査産業計 (総合工事業を除く)	(1.83)	(0.49)	(1.15)	(1.84)	(2.61)	(0.11)	(0.05)	(0.07)	(0.10)	(0.16)

注：（ ）内は前年（平成19年）の数値である。

2 総合工事業調査

平成20年の労働災害の状況を総合工事業でみると、度数率は1.89（前年1.95）、強度率は0.41（同0.33）となり、死傷者1人平均労働損失日数は217.5日（同167.5日）となっている。前年と比べ、度数率は0.06ポイント低下、強度率は0.08ポイント上昇し、死傷者1人平均労働損失日数は50.0日増加している。（第3図、第3表）

工事の種類別にみると、土木工事業の度数率は1.67（同2.08）、強度率は0.73（同0.74）、建築事業の度数率は2.04（同1.92）、強度率は0.20（同0.23）となっている（第3表）。

第3図 労働災害率及び死傷者1人平均労働損失日数の推移
〔総合工事業〕

